

平成29年度 食育推進事業実施状況（平成30年3月末現在）

《基本目標》 食べる力をみんなでアップ！ ～みんなでおいしく楽しく食べよう～

参考資料

推進団体	ページ数
一般社団法人仙台市医師会	1
一般社団法人仙台歯科医師会	2
公益社団法人宮城県栄養士会	4
仙台市小学校長会	6
仙台市私立幼稚園連合会	8
仙台市保育所連合会	9
仙台市PTA協議会	10
仙台市食生活改善推進員協議会	11
宮城県生活協同組合連合会	13
みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）	18
日本チェーンストア協会東北支部	20
仙台農業協同組合	21
仙台白百合女子大学	22
宮城大学	23
仙台市市民局	24
仙台市子供未来局	25
仙台市環境局	30
仙台市経済局	31
仙台市教育局	34
仙台市健康福祉局・各区保健福祉センター，総合支所	38

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市立学校健診 糖尿病精密検査 生活習慣病検査 貧血検査	小・中学生	・学童を対象とした各健診後、児童・生徒及び保護者に対して、校医、専門医による食の改善、運動等事後指導を実施する。また、円滑に指導等ができるよう関係者と連携を図る。	糖尿6/26～6/30 生習9/1～9/6 貧血8/28～10/13	糖尿病精密検査実績25名 生活習慣病検査実績189名 貧血検査実績980名	仙台市医師会

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギーへの対応事業	保育士、栄養士、教諭等	・食物アレルギー対応の手引き（改訂版）を活用し、指導・助言を行う。	通 年		仙台市医師会

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊婦健診事業	妊婦健診受診者	・妊婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症候群、妊娠糖尿病などの異常を早期発見し、妊娠期間中の食事指導などを行う。また、支援が必要な妊婦については行政と連携し積極的に指導する。	通 年	妊婦健診実績 延べ 95,945名	仙台市医師会
2	乳幼児健診事業	乳幼児健診受診者	・乳児健診（2か月、4～5か月、8～9か月）、1歳6か月児、3歳児健診において、乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施する。	通 年	乳児健診実績 24,888名 1・6、3歳児健診実績 1・6歳⇒8,795名 3歳⇒8,292名	仙台市医師会

具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定健診・特定保健指導事業	一般市民	・特定健診、基礎健診における問診や結果に応じて、生活習慣病等の「疾患に関する判定」「メタボリックシンドロームに関する判定」及び「特定保健指導に関する判定」を行い、保健指導により個々の生活習慣改善の行動目標を設定（身体活動量・食事バランス）し、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、引き続き登録医療機関で指導する。また、検査項目の一つ血清尿酸は、動脈硬化・脳卒中・心臓病・腎臓病の危険因子であり、肥満との関連性もあることから、各種疾病の早期発見・早期治療に引き続き努めたい。	平成29年7月～ 平成30年3月	特定健診実績 69,447名 *市国保 基礎健診実績 38,846名 動機付け支援実績 632名	仙台市医師会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民向け冊子の配布	一般市民	・食の大切さやより良い食事に関する啓発	通年	第60号発行	仙台歯科医師会
2	歯と口の健康週間 市民のつどい	一般市民	・歯科医師会と，宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて，食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月10日（土）	参加者 850名	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ，情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし，幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校・幼稚園・保育所での講話	児童・職員	・歯科校医，園医，嘱託医による講話などでの食事指導	通年	会員ごとに実施	仙台歯科医師会
2	支援学校での摂食指導	児童・保護者 職員	・鶴谷特別支援学校，県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	3回	5/18, 6/15, 12/14に実施	仙台歯科医師会
3	仙台市PTAフェスティバルへの参加	児童・保護者	・健康的な食生活についての啓発	2回	ブース参加者 950名	仙台歯科医師会
4	3歳児カリエスフリー85プロジェクト	乳幼児	・乳幼児期からの正しい食習慣の確立への啓発	通年	会員ごとに実施	仙台歯科医師会

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と，宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて，食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月10日（土）	参加者 850名	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会

取り組みの方向性 ①-F 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます						
具体的な取り組み ①-F-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口腔の健康づくり教室	園児	・若林区保健福祉センターと若林地区の仙台歯科医師会会員が連携して、「歯と口の健康づくり教室」の実施。	1回	180名	仙台歯科医師会
2	地域住民への啓発活動	一般市民	・各区民まつり等での食に対する啓発	3~4回	若林区において実施	仙台歯科医師会

1歳6か月児健康診査：211回
 実施。8,795名来所。個別相談
 1,266名。
 2歳6か月児歯科健康診査：
 213回実施。8,633名来所。個
 別相談648名。
 3歳児健康診査：215回実施。
 8,292名来所。個別相談493

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい	一般市民	・歯科医師会と，宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて，食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月	50名	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会
2	栄養ヘルスダイヤル	一般市民	・健康や栄養，食生活，生活習慣病に関して，電話またはメールによる栄養相談窓口を開設する。	通年		宮城県栄養士会

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と，宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて，食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月	50名	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会
2	いい日いい汗栄養まつり	一般市民	・健康づくり関係団体と連携し，最新の健康・栄養情報を食事診断，健康・栄養相談，栄養講話等，実際の体験を通じて普及啓発	11月	382名	宮城県栄養士会
3	健康づくり公開講座	一般市民	・最新の健康・栄養情報を，調理実習も加えて普及・啓発する。 第1回 「野菜の力で生活習慣病予防」（富谷市） 第2回 「野菜の力で生活習慣病予防」（仙台市）		51名	宮城県栄養士会
4	栄養ヘルスダイヤル 《①-A-1 再掲》	一般市民	・健康や栄養，食生活，生活習慣病に関して，電話またはメールによる栄養相談窓口を開設する。	通年		宮城県栄養士会
5	栄養ケア・ステーションにおける栄養指導・講演会等への講師派遣	一般市民	①医療機関での栄養指導 ②特定保健指導 ③市民センター，幼稚園，児童館，福祉協議会，支援センター等の栄養講話や，調理実習	通年	350人	宮城県栄養士会

平成29年度食育推進事業実施状況（平成30年3月末）

（公社）宮城県栄養士会

6	マスコミや執筆による情報提供	一般市民	・栄養相談（げんき倶楽部「杜人」の質問回答など）や、食の情報提供など		0名	宮城県栄養士会
7	仙台市介護予防月間	一般市民	・生き生き元気栄養相談		30名	宮城県栄養士会
8	県民健康づくり公開講座	一般市民	・日常生活におけるナトリウム・カリウムバランス評価についての試み	11月	105名	宮城県栄養士会
9	ヤクルト健康づくり提唱のつどい	一般市民	・腸活！元活！生涯いきいき！	11月	104名	宮城県栄養士会 ヤクルト
10	リビングスマートシニアフェスタ2017秋	一般市民	・シニアの生き生きと暮らすためのヒントの情報提供・健康相談	9月	245名	宮城県栄養士会 仙台リビング新聞社
11	子育て応援団すこやか2017.	一般市民	・ミヤテレ主催 食育に関する案件 離乳食・幼児食相談、ゲーム、塗り絵など	10月	200名	宮城県栄養士会 宮城テレビ
12	みやぎサテライトステーション	一般市民	・健康相談 宮城県依頼により、名取イオンにて月2回開催	通年	120名	宮城県栄養士会
13	被災者支援事業	南三陸集約拠点8団地・復興公営住宅居住者	・被災された南三陸町の方々を対象に、看護協会活動に同道して健康相談	実施回数 31回 スタッフ全体会議10回	207名	宮城県栄養士会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-4 学校での様々な活動において『食に関する指導』を充実させます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の作成及び見直し	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> 「食に関する指導の手引き」をもとに、「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の見直しを行い、各教科や特別活動及び学校の教育活動全般において食育を推進する。 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための教育活動を工夫し、実践する。 	通年 各学校において適宜指導を振り返り計画の見直しを図る。 教育活動全般での食育推進を目指す。	児童・生徒の実態と地域の特色を生かした食育推進のために、年間指導計画の定期的な見直しを図っている。	小・中学校教育局
2	給食の時間における食に関する指導の充実	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> 給食時間をはじめ、食に関連する教科・諸行事等において、各学級担任を中心に、栄養教諭・学校栄養職員の参画にて食に関する指導を行う。 「食育の日」、「食育月間」の普及・啓発を行う。 仙台産など、地元の農産物を活用した給食で、食育を推進する。 	通年 指導計画を基に、児童・生徒の実態に応じた食育を推進する。	担任と栄養教諭、学校栄養職員が連携し、短時間の指導を継続的に行った。	小・中学校教育局
3	「給食週間」	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> 児童、生徒を中心に内容を工夫して、給食に感謝する催しを開催する。 	1月 児童・生徒の主体性を大切に各学校の特色を生かして行う。	1月下旬に各校で実施。伊達武将隊を招いて、郷土食に関する学習をする学校もあった。	小・中学校教育局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表や給食だよりによる啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 献立表や給食だよりなどを通じた食育活動の周知をする。 食物アレルギーへの対応について周知する。 	月ごとに実施	バランスのよい食事や地場産品の良さなど、毎月テーマを設けて啓発に努めている。	小・中学校教育局
2	「望ましい食習慣形成」の呼びかけ	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 保護者懇談会や給食試食会、PTA行事などを利用して、望ましい食習慣の形成、食を通じたコミュニケーションの促進を図る。 	通年 養護教諭と共に健康教育の一環として実施	各学校において保護者の協力を得て、生活習慣全般を改善する取り組みを実施している。	小・中学校 仙台市PTA協議会 教育局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食育」の実践研究	教諭・栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小学校教育研究会学校給食部会の取り組みとして、研究主題「食を大切にす る心をはぐくみ、健全な心身を培う食育の推進」を掲げ、実践研究を行う。	通年 仙台市を7つの地 区に分け、それぞ れがテーマを設け て実践する。	県大会（200名参加） インスタント食品と自分 たちの生活との関わりを考 えさせる学習や、手作り弁 当の日の取り組みなど、研 究発表、研究協議を実施し た。	小学校 （仙台市小学校 教育研究会学校 給食部会）
2	学校給食の充実・発 展のための研修	栄養教諭・学 校栄養職員	・仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会の中の、栄養教諭・学校栄養職員部会に おいて、講演会や調理実習、施設見学などの研修を行い、資質向上をはかる。	通年 年間の研修計画を 立て、定期的に研 修会を開催する。	親子料理教室、スラヴ料 理の調理研修、コミュ ニケーション向上研修等を実 施した。	小・中学校 （仙台市小・中 学校教育研究会 学校給食部会）

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者，地域の子育て家庭の保護者に，健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食試食会と食事のバランスについての講座	園児・未就園児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市私立幼稚園連合会の各地区研修部，推進委員を通して働きかけ，各園の状況に合わせて実施 食に関心を持つ（食材の工夫，栄養のバランス） 	通年	80名程度	幼稚園 私立幼稚園連合会

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食べることが楽しくなる食育	教諭・職員	<ul style="list-style-type: none"> 各地区毎の研修会において，食育推進計画の主旨，内容を伝え，今まで各園で実施してきた活動の見直しや，他の園はどんなことをやっているのか，情報交換の場を設ける 	1回	89名	幼稚園 私立幼稚園連合会
2	仙私幼通信に掲載	仙台市私立幼稚園連合会会員園	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市私立幼稚園連合会会報誌「仙私幼通信」に，食育推進会議に出席してという内容で，仙台市の食育推進の現状等を報告した。 	1回		私立幼稚園連合会

取り組みの方向性 ①-F 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-F-2 食べる事が楽しくなる体験を通して，子供たちに，食べることの大切さを伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食べることが楽しくなる食育	園児と保護者	<ul style="list-style-type: none"> おいしいと感じること，体験することを重視し，また，食育情報として子どもの様子を知らせたり，食のマナーについて伝えていく 	通年	仙台市私立幼稚園連合会全体で実施	幼稚園 私立幼稚園連合会
		園児	<ul style="list-style-type: none"> 作物を栽培，収穫し食べる体験 	通年	仙台市私立幼稚園連合会全体で実施	
2	偏食を減らすための取り組み	園児	<ul style="list-style-type: none"> 食材の成り立ち・旬・栄養素についてなど知ることで食事に対して関心が深まるようにする。 意欲的に食事を知るようになるにはどうすればいいか探る 	通年	仙台市私立幼稚園連合会全体で実施	幼稚園 私立幼稚園連合会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所入所児家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の給食試食会を通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。 	通年	入所児童家庭にレシピ集を配付 14,109家庭	保育所 保育所連合会 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士研究委員会にて、テーマを設けて研究・発表する ・保育所連合会栄養士研修で食物アレルギーへの理解を深め、施設での実践につなげる。 	通年 10月17日 1回	169名参加	保育所 保育所連合会 子供未来局
2	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習や講義の研修を通して、食育や乳幼児期の食事についての理解を深める。 	調理実習4回 8月22,23日 9月6,7日 講話 1回 9月1日	調理実習 4回実施 78名参加 講話 1回実施 82名参加	保育所 保育所連合会 子供未来局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 親子料理教室等の開催 給食試食会 栄養士さんの講話 ミニ菜園づくり など 	通年		仙台市PTA協議会

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域行事での食育	小・中学生	・田植えや収穫などの農業体験活動			仙台市PTA協議会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育の日（毎月19日）アピール	一般市民	・宮城地区まつりに参加して，地産地消の野菜でカルシウムたっぷり（小エビ，スキムミルク）のおこのみ焼きを販売	10月29日	食改員14名参加 地域とのふれあい	仙台市食生活改善推進員連絡協議会（宮城）

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し，若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により，若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え，食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業	高校生	宮城広瀬高校フードデザイン科3年生を対象に，「学生のための食活ガイド」テキストを使用して進めました。 ・食を通じた健康づくりの実践 ・朝食の必要性和食事バランス ・調理実習	1回目 11月1日 2回目 11月7日	1回目 28名 2回目 30名	仙台市食生活改善推進員連絡協議会（宮城）

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と，健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて，生活習慣病予防について学習する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活改善普及事業（肥満予防料理講習会）	幼稚園保護者	・簡単で野菜を多く取り入れた料理を普及し，糖尿病などの生活習慣病予防のための食生活改善を促すための講習会を実施する。（「食事バランスガイド」を上手に活用する方法や適正体重の計算の仕方等）	1月25日	幼稚園保護者 9名 食生活改善推進員 6名 大変好評でした	仙台市食生活改善推進員連絡協議会（秋保）
2	ヘルスメイトが「TUNAGU」（繋ぐ）パートナーシップ事業（第3弾）	一般市民	・地域と世代をつないで「減塩」と「野菜ワンプレート」の普及をテーマに，料理講習会を実施する。 ・お隣さん，お向かいさんを訪問し，塩分測定器「減塩くん」を使い，みそ汁の塩分チェックと野菜ワンプレートの普及に努める。	随時	家庭訪問し，塩分測定器でみそ汁の塩分量測定	仙台市食生活改善推進員連絡協議会（宮城）
3	肥満予防講習会	一般市民	・「適正体重を維持しましょう（自分の適性体重をしりましょう，週1回は体重を測定しましょう）」の内容で講習会を実施	11月 1回	日程が取れず出来ませんでした	仙台市食生活改善推進員連絡協議会（秋保）

平成29年度食育推進事業実施状況（平成30年3月末）

仙台市食生活改善推進員協議会

4	食生活改善普及事業 (良い食生活をすすめるための料理講習会)	一般市民	(テーマ) ①骨とカルシウムについて ②食育について 等 実習献立(アジアンコース): ①キーマカレー麺 ②カドカド風サラダ ③ラッシープリントロピカルソースかけ	7月14日	参加者 15名 今までになく「アジアンコース」が大変好評でした。	仙台市食生活改善推進員連絡協議会(秋保)
5	健康教室	食生活改善推進員(宮城)	栄養士による「バランスのよい食事について」の健康講話後、あやし地域包括支援センターの4名の方による筋力アップの運動を、ギター演奏で懐メロを歌いながら、大笑いの楽しいひとときでした。	7月10日	参加者14名	仙台市食生活改善推進員連絡協議会(宮城)

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子の食育教室	児童と親	・食育の5つの力「①料理ができる力②食べ物の味がわかる力③元気なからだがわかる力④食べ物のいのちを感じる力⑤食べ物を選ぶ力」について、バイキングでお料理をバランス良くプレートで選び主食・主菜・副菜・牛乳・乳製品・果物の選ぶ力を勉強する。	今年度予定なし		仙台市食生活改善推進員連絡協議会(宮城)
2	親子の食育教室 (川前児童館依頼)	子どもと親	・料理教室 川前児童館の子どもと親20組対象 はっと汁(郷土料理) (宮城食生活改善推進員会)	今年度予定なし		仙台市食生活改善推進員連絡協議会(宮城)

具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生涯骨太クッキング教室	地域の住民	・「生涯骨太」講話と乳製品を使った調理実習 メニュー (主食)桜海老の炊き込みごはん(主菜) 鮭と大根の和風スープ(副菜) 豆腐と野菜のチーズチャンプルー(デザート) パインのアップサイドダウンケーキ	2月 1回	日程が取れず出来ませんでした	仙台市食生活改善推進員連絡協議会(秋保)

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	健康のつどいでの普及啓発	一般市民	・地域の各団体との共催事業である「健康のつどい」の会場において、郷土料理や地域の食材を紹介するブースを設置 献立: ①簡単チャーシュー ②りんごのカップケーキ	11月15日	一般市民 106名 食生活改善推進員 6名 大変好評でした。	食生活改善推進連絡協議会(秋保) 秋保総合支所

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	はやね・はやおき・あさごはん運動の推奨	一般市民	・店舗で「しっかり朝食フェア」を実施し朝食をとる大切さをお知らせする。	4月，8月，1月。年3回	4月「元気な一日は朝食からしっかり朝食手軽に用朝食」 8月「新学期準備セール朝食応援！しっかり食べて一日をスタート」 1月「しっかり朝食元気な一日は朝食から和朝食 洋朝食」とし朝食の提案を行う。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

具体的な取り組み ①-A-3 キャンペーンやコンテストなどにより，市民の食育活動への参加を促します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	あいごはんアイデア募集	組合員	組合員から寄せられたあいぐらんど商品を使ったアイデアを募集し，ホームページで紹介する。	通年	現在244件をHPに掲載。 今年度の追加投稿はありませんでした。	宮城県生活協同組合連合会（あいこーぷみやぎ）

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり，自主的な食育活動につなげます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育推進委員会の実施	大学生	・東北地区の大学生協で組織活動に取り組んでいる学生さんが集まり，大学生協の食育推進をどうするかを検討。 ・お弁当の日や料理教室などを実施計画。 ・大学生協東北事業連合と協力して店舗で提供する商品の試食	2月12日（日） 4月15日（土） 7月8日（土） 10月7日（土）		宮城県生活協同組合連合会（大学生協）

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ミールプラン推進	大学生	・食堂利用定期券「ミールカード」により、「食費を切り詰めることのない健康的な食生活」を提案する。	利用は年間。プラン作成、販促は下期より		宮城県生活協同組合連合会（大学生協）

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活提案の展開	一般市民	みやぎ生協は「食」をだいに健康づくりをすすめます。食生活提案をすすめる4つの基本テーマに沿った「みやぎ生協の食生活提案」を広めます。実践として、「日本型食生活の料理教室」を実施します。	10月～12月に県内6カ所で、たべるたいせつ料理教室「野菜をおしゃれに楽しむ～パーティメニュー～」を開催。	10月～12月に県内7カ所で、たべるたいせつ料理教室「野菜をおしゃれに楽しむ～パーティメニュー～」を開催。参加人数151人。仙台市内は2カ所で開催、参加人数46人。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食育活動委員会の活動	一般市民	・食育に興味のあるメンバーが登録 ・みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学びながら、「たべる・たいせつセミナー」や「5A DAY食育体験ツアー」の運営を行う	年間10回	メンバー22人が登録。2月末までで予定された10回終了。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子料理教室・大人のお魚教室開催	親子・成人	・食育NPOおむすび、株式会社仙台水産と共催し、「お魚がきっと好きになる料理教室」「大人のお魚教室」を開催。宮城の旬の魚介類を素材に、調理や学習の援助を実施。	お魚がきっと好きになる料理教室3回・大人のお魚教室3回開催	お魚がきっと好きになる料理教室3回終了。24組52人参加。大人のおさかな教室は3回終了し参加人数は71人でした。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	料理教室の開催		・子供たちの豊かな食生活と健康のために、「あいぷらんど商品」をはじめとしたあいコープの食材を活用した試食会、料理教室を開催する。テーマ食材の生産者にも参加していただき、食の現場に学ぶ。	年10回	11回開催、のべ184名参加。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	5A DAY食育体験ツアー	小学生	・2005年から実施している「5A DAY食育体験ツアー」は、店舗の集会室を活用して食育の授業を行うもので、今年度も継続開催する	5月～1月に仙台市内の小学校15校で開催。	1歳6か月児健康診査：211回実施。8,795名来所。個別相談1,266名。 2歳6か月児歯科健康診査：	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	日本型食生活提案	一般市民	たべるたいせつ料理教室で、日本型食生活についてパワーポイントを使用して学習。	仙台市内では、10月にウィズで12月に幸町店開催。	仙台市内は2か所で開催、46人が学習しました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場商品の普及活動の実施	一般市民	・毎月第一土曜日の「地産地消の日」に、「お米の日」として米生産者による試食推奨活動、商品のPRを行う。毎月15日に「めぐみ野」（産直品）の普及活動の日に設定し普及活動に取り組んでいます。	第1土曜日に「めぐみ野」米の普及活動、毎月15日にめぐみ野品（地場商品）の普及活動を実施。	普及の活動、は192回861人が参加しています。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食のかたりべ活動	一般市民	・食に興味のあるメンバーが登録し、「みやぎ生協の食品の安全総合政策」を通してメンバー自身が「食」について学習し、その内容を他のメンバーに伝える活動を行う	4月～11月、食のかたりべ養成講座(4回)及び産地研修会(2回)に参加。かたりべ活動を行う。	食のかたりべとして58人が登録。4～11月、食のかたりべ養成講座(4回)及び産地研修会(2回)に参加して、メンバーのつどい会場などでかたりべ活動を行いました。(308回)	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

平成29年度食育推進事業実施状況（平成30年3月末）

3	食育体験ツールの提案	一般市民	・野菜の花から野菜の名前を当てたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールや、みやぎ生協の紙芝居を提案。食育の学習教材として「みやぎの旬」カード、「大地の恵み31・海の恵み38選」を、様々な場面で活用できるよう取り組みを広げる	今までに作成したツールを継続活用する	継続活用しているが回数・人数は不明	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
---	------------	------	--	--------------------	-------------------	---------------------

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	産地見学会	一般市民	・生産現場の見学を行い、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する	4月～12月、産地見学会の実施。	生産現場の見学を行い（志津川漁協、JAみどりの、JAみやぎ仙南、JAいしのまき、柳生産直会、和雄と一郎農場、鳴子上原酪農組合等）、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する。産地見学会 2017年度4月～12月で70回開催。参加人数、2,209人が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食に関する学習会開催	組合員 一般市民 生産者	・食の現状や農薬について生産者や専門家の話を聞き自分たちの食生活をみなおす。	講演会2回 学習会10回	5月24日畜産学習会28名参加。 9月12日フェアトレードとバナナ学習会67名 1月18日農産学習会「子どもの発達障害とネオニコチノイド系農薬」92名 毎月、地区委員会定例会で商品学習を開催。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
3	生産者訪問	組合員	・生産者を訪問し、生産現場の様子、工夫などを知り、顔の見える関係を築く。	4月原木椎茸産地見学 6月ながめやま牧場見学（山形） 夏 唐桑訪問 秋 やっべしりんご見学（山形）	4月23日原木椎茸産地見学43名参加。 6月10日ながめやま牧場見学119名参加。 9月唐桑の牡蠣生産者を広報委員会が訪問取材し、機関紙「あいあいあい」で産地の様子を掲載。 9月24日りんご産地見学27名参加。 1月11日鎌田醤油見学（理事研修）	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
4	地区委員会と地場生産者のタイアップ交流	組合員	・10地区委員会がそれぞれ地場生産者をの中からタイアップ先を決め、一年を通して交流と学習の活動を行う。	通年	10地区の各委員会が、1生産者と半年間かけて学習・交流活動を実施。学習成果を10月29日Wa!わぁ祭りで発表した。タイアップした生産者は、農産3、畜産3、水産加工2、食品加工2。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生協と生活者が一緒に稲を育てる	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> メンバーが家庭で稲を育てる。バケツ稲栽培コンテストを実施し、メンバー自身が自分で稲を育てる体験をする。 産地で春に田植え体験、田んぼの生き物調査、秋には稲刈り体験を実施 	バケツ稲の配布 5月28日。バケツ稲栽培コンテスト10月9日・10月15日開催。	21店舗でバケツ稲を配布し、メンバー自身が自分で稲を育てる取組みに644家族が参加しました。初めて南光台保育園から12セット申込がありました。めぐみ野たんの学校、田植え体験26人、田んぼの生き物調査41人、稲刈り体験は43人が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	JAみやぎ仙南「めぐみ野」ねぎ収穫体験	メンバー家族	ねぎ圃場でねぎの抜き取りの収穫体験を行いながら生産者と交流	12月	実施回数 年1回 参加者 53家族166人が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
3	農業体験の実施	組合員の親子	<ul style="list-style-type: none"> あいコープの交流田は、「えんのう」の皆さんに田植え、草取りをしてもらい、生産者に管理していただく。実りの秋には稲刈りをします。（田んぼに行こう企画） 年間登録のメンバーによりあいコープの体験圃場でさつまいも、落花生。秋大根の栽培を体験する。（畑に行こう企画） 	田んぼに行こう～年4回 畑に行こう～年8回	「田んぼに行こう」5月、6月、7月、10月の4回実施。のべ190名。 「畑に行こう」19組54名が登録し、4月～11月に8回活動。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場の原料を使用した加工品の開発	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県産品を利用したの商品開発を継続して行う 東北地方の震災復興と地域振興を目的に立ち上げた新ブランド「古今東北（ここんとうほく）」は東北6県からえりすぐりの食材、加工品など開発・発売。 	商品開発・販売の継続。	「古今東北」ブランド商品は2017年度末現在で143商品となりました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「手作りハム」「削り節」「保存食」「原木椎茸」「自然栽培米」「ホヤ」をテーマに開催した。	2017年4月,5月,6月,10月,11月,2018年2月の5回	延べ143名の参加者	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「手作りハム」「削り節」「保存食」「原木椎茸」「自然栽培米」「ホヤ」をテーマに開催した。	2017年4月,5月,6月,10月,11月,2018年2月の5回	延べ143名の参加者	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「手作りハム」「削り節」「保存食」「原木椎茸」「自然栽培米」「ホヤ」をテーマに開催した。	2017年4月,5月,6月,10月,11月,2018年2月の5回	延べ143名の参加者	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「手作りハム」「削り節」「保存食」「原木椎茸」「自然栽培米」「ホヤ」をテーマに開催した。	2017年4月,5月,6月,10月,11月,2018年2月の5回	延べ143名の参加者	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくりま

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「手作りハム」「削り節」「保存食」「原木椎茸」「自然栽培米」「ホヤ」をテーマに開催した。	2017年4月,5月,6月,10月,11月,2018年2月の5回	延べ143名の参加者	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
2	オーガニック・ウィーク・センダイ 2017	生産者・一般市民・流通加工業者・販売者など	期間中に、共通のロゴ・のぼり旗を使って、宮城県内で「オーガニック」や「有機」といった言葉を広めるためのキャンペーンを実施。WEBでイベントを集約し、Facebookなどで広報。「有機」に関して本格的な知識の得られるセミナー、有機農家の直売会や講演が開催された。実行委員会で企画したイベントでは、オーガニックコットンの検査員による講演や、ファストファッションに焦点を当てた映画の上映、有機農家のトークセッションなどを実施した。	2017年11月3日～11月12日	期間中の関連イベント合計で、延べ2,603名以上の参加者※別紙で実行委員会企画イベントの報告書添付	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくりま

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	1歳6か月児健康診査：211回実施。8,795名来所。個別相談	担当主体・局
1	仙臺農塾 《①-D-1再掲》	働き盛りの若い世代	食事が疎かになりがちな働き盛りの社会人の男女を対象に、街中の飲食店を会場にした大人の食育講座を「手作りハム」「削り節」「保存食」「原木椎茸」「自然栽培米」「ホヤ」をテーマに開催した。	2017年4月,5月,6月,10月,11月,2018年2月の5回	延べ143名の参加者	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)
2	ネオニコチノイド系農薬の危険性を広める紙芝居の上演	小学校3,4年生	強い効果で、且つ長期間にわたり影響を与え続けるネオニコチノイド系農薬の危険性を分かりやすく伝えるために、紙芝居を作製して上演した。1作目は農薬の特徴や、農薬使用による生態系への影響などを盛り込み、2作目は家の中でも虫の駆除剤など身近なものに使われていることを伝える内容。WEB上でダウンロード可能。	9月2日,9月16日,12月10日	延べ100名程度への上演を実施	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットの啓発活動	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用した食情報の提供 ・情報誌・レシピの提供 			日本チェーンストア協会東北支部

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくれます

具体的な取り組み ①-E-2 食品販売業者，スーパーマーケット，飲食店，ホテル，旅館等との連携により，食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットの啓発活動《①-A-1 再掲》	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを活用した食情報の提供 ・情報誌・レシピの提供 			日本チェーンストア協会東北支部

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で，様々な年代が，体験を通して，健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくれます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットツアー	小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象に野菜の大切さを中心とした体験学習の実施 	11月 2回	小学生50名×2回	日本チェーンストア協会東北支部

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流，体験の場をつくれます

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり，広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	スーパーマーケットの地産地消の取り組み	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> ・県産農産物，加工品を活用した商品開発，販売による地産地消の推進 			日本チェーンストア協会東北支部

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	J A仙台食農教育プラン「2013」の実践	小・中学生	〇まるっと給食とここで給食と題して各校に地元野菜を供給する。まるっと給食はできる限りその日のメニューをさまざまな種類の仙台産の野菜を使って給食を作る。ここで給食は仙台産の野菜を1種類その日の給食に取り入れる。	11月から1月冬野菜186校を対象	まるっと給食は給食センター1施設・25校に、ここで給食は給食センター5施設・58校に配達を実施中。	仙台農業協同組合 仙台市

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	J A仙台食農教育プラン あぐり塾の開催	一般市民	〇あぐり塾第6期生と題し、募集したところ23名の一般市民が集まった。あぐり塾生は1年を通し、稲作・野菜栽培・果樹（りんご）摘果収穫・搾乳体験・しいたけ植菌作業・座学講習等を受講する。 ◆稲作：田植え・生き物調査・稲刈り・新米試食会等 ◆野菜栽培：トマトとピーマンの苗を配布 ◆果樹：摘果作業と収穫作業 ◆しいたけ：植菌作業 ◆その他：施設見学・豆腐づくり	4/29 開塾式 5/13 田植え・野菜栽培 6/10 りんご摘果・里芋定植 7/22 田んぼの除草作業・生育観察 8/19 野菜収穫 9/23 稲刈り 10/21 豆腐づくり・新米試食 11/25 りんご収穫・搾乳 12/16 野菜収穫調整 H30/1/20 閉塾式	一般参加者23名が10回の講習にて食と農について学んだ。稲作では田植えから稲刈りまで、野菜では植え付けから収穫まで、果樹では管理と収穫等を体験し、農業の大変さ、喜びを感じていた。	仙台農業協同組合
2	J A仙台食農教育プラン 学童農園	小学生	〇農作業体験（地区青年部が主体となって実施） ◆田植え 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小 ◆生きもの調査 新田小 ◆だいこん種まき 白百合学園中等部 ◆稲刈り 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、生出小、大沢小 ◆じゃがいも播種・収穫 杉の子保育園	・田植え5月 ・生き物調査7月 ・稲刈り10月	青年部が主体となり10校にて田植えや稲刈りを主体に農業の体験学習を行った。	仙台農業協同組合
3	J A仙台食農教育プラン 豆腐づくり講座	小学生	〇地場産大豆を使って豆腐づくりを指導 1回35人前後で3時間ほどの講座（750gの大豆使用） ◆今年度も募集し参加校を募ります。	・7月上旬に各市町村の教育委員会を通じ案内書を送付。11月頃から講座開始	7クラス（学校数4校）にて豆腐講習を行った。児童からは「作るの大変だったけれどおいしかった」という感想があった。	仙台農業協同組合

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	一人暮らしのための食育講座	女子大生	一人暮らしの若い世代の女子学生を対象に毎日の食事を豊かにするための一助として、クッキング講座を開催する。今年度は非常時・災害時に備え、乾物の扱い方をテーマとした講座を実施した。	6月24日(土)に実施	参加者24名。震災後一般家庭において見直した食材は保存が効き、手間がかからない乾物類だったこと、また日常や非常時に重宝する乾物に焦点をあて家庭でできる非常時の簡単調理を実践した。	仙台白百合女子大学

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	みやぎ県民大学講座「骨はからだの母親 一骨を元気にするために」	一般市民	骨は、強くしなやかにからだを支えている。骨は家族にとっての母親みたいなもの。骨（母親）が元気であれば、からだ全体（家族全員）は元気になる。元気な骨を維持するために、「骨と栄養」と「骨と運動」の2つについて一般の市民を対象に実践的に学んでもらう。	7月1日および8日 各2回の講座を実施	参加者35名 2日間にわたり、身体の骨に焦点をあてた一般市民対象の大学開放講座を行った。骨を丈夫にする食事の栄養価計算、骨密度測定で身体の状態確認、骨形成に必要な栄養素を含む食材を使った調理実習、骨や身体の健康を維持する運動の4講座であった。	仙台白百合女子大学

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地元野菜を取り入れた弁当の考案・販売	一般の方々	女子大生と(株)HONOKAとの協働事業を継続して展開。女子大生が地元の野菜や魚介類を取り入れた弁当を考案し、穂野かが作製した弁当販売を行う。レシピ作成にあたって適塩を考えと野菜不足解消の一助となるように地産地消を意識して地元の旬の野菜を豊富に使用する。	H30.4月の販売を目標に計画・立案	H30年4月14日～23日に泉中央駅セルバ地下1階穂野かにて限定20食の販売を実施した。	仙台白百合女子大学

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	高校生に向けた食育の推進	高校生	高校2年生に対して，食と健康についての食育の出前授業を実施した。	年1回	参加者 20人	宮城大学食産業学群
2	大学生に向けた食育の推進	大学生	・食育の授業を通して，食に関する知識を提供し，学生が自分自身の食生活を見直し，改善することを促した。	月3回	・今年度は3・4年生対象のゼミ形式で合計15回，延べ人数60人	宮城大学食産業学群
3	市民に向けた食育啓発活動	一般市民	・食育に関する調査・研究の成果を活かし，一般市民に講演を行い，食育啓発活動を行う。5月にみやぎ生協学習会で「毎日の食事でおいしくアンチエイジング」の講演を実施した。	年1回	・5月のみやぎ生協学習会，参加者約140人	みやぎ生活協同組合
4	教員に対する食の講習	幼稚園・保育園，小・中・高校の教員 栄養教諭	・食育に関する教員免許更新講習会を実施し，子どもに対して食の教育を実践していたために役立つ知識や指導例等について，紹介・説明した。	年1回	・10月に実施，教員30名参加	宮城大学食産業学群
			・食の教育のリーダーとなる栄養教諭に，食育の実践に役立つ情報や指導例を紹介・説明した。	年1回	・12月に実施，栄養教諭20名参加	宮城県市総合教育センター

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり，自主的な活動につなげます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	朝ごはんフェア	大学生	宮城大学のサークル@グリーンが，森本素子先生の指導のもと，被災者支援ボランティアの一環として始めた活動で，大学の農場で栽培した野菜や，寄付による食材を利用して，大学の加工棟で学生が被災された方たちと一緒にスープやパンを作り，無料で朝ごはんを提供する。最近では，学生だけで自主的に準備できるようになっている。	月1回，6回実施	・調理は毎回@グリーンメンバー3～8人で行い120食程度提供，延べ参加者約700名。	宮城大学食産業学群

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品に関する講座等の開催	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に，食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	9月，1回	テーマ：おいしく食べて災害に備える！～ローリング・ストック術を身につけよう～ 参加者数：82名	市民局
推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持とう						
取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに，正しい知識を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	広報誌「ゆたかなくらし」の発行	一般市民	・消費生活に関連する様々な情報の提供。	年4回発行 5月，8月，11月，2月 各9,000部発行	年4回発行 5月，8月，11月，2月 各9,000部発行	市民局
2	ホームページによる情報提供	一般市民	・食品表示に関する情報の提供。	随時	随時	市民局
3	消費生活センター内情報コーナーでの情報発信	一般市民	・行政機関や，各種団体の啓発資料等を設置し，情報提供の場とする。	随時	随時	市民局
4	食品に関する講座等の開催 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に，食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	9月，1回	テーマ：おいしく食べて災害に備える！～ローリング・ストック術を身につけよう～ 参加者数：82名	市民局
5	仙台市オリジナル消費者教育教材の製作・配布	一般市民	・消費生活の知識を楽しく学ぶことができる消費者教育ウェブサイト「伊達学園」において，幼児期から成人まで発達段階に応じた情報提供を行う。また，学校における消費者教育をより一層支援することを目的とした小学校高学年向けのウェブサイト「授業でござる」では，お金の使い方や地産地消などの情報提供を行う。	随時	随時	市民局
		小・中学生	・子ども達が消費生活について関心を持って学べるリーフレット等を製作し，市内の小中学校に配布。 ①めざせ！買い物名人（小学校高学年用リーフレット） ②めざせ！賢い消費者 伊達なくらし入門（中学生用副読本）	3月，年1回	3月，年1回	

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ「くらしのガイド『子育て』」での情報発信	一般市民	・妊娠中の食生活や、離乳食、幼児食などの情報を提供		子育てサポートブック「たのしねっと」に掲載している内容（妊娠中の食生活・離乳食・幼児食について）の情報発信を実施。	子供未来局
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	離乳食・幼児食講座、試食会	地域の子育て家庭保護者	各保育所及び子育て支援センターでの離乳食講座、幼児食講座の実施を通して、子育て家庭の保護者へ健康的な食習慣について情報発信をする。	4月～3月 公立 250回 私立 514回 認可 7回	参加者 公立 829名 私立 4903名 認可 80名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
2	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所入所児家庭	・保育所の給食だよりを通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。	全保育所で毎月給食だよりを発行リーフレット配布	入所児童全家庭対象 公立 2,769家庭 私立 10,947家庭 認可 393家庭	保育所 保育所連合会 子供未来局
3	親子調理活動	保育所入所児童と保護者	・保育参観や懇談会等で親子調理活動を実施し、親子で食事作りを楽しみ、家庭での食への興味や関心を深める。	4月～3月 公立 58回 私立 77回 認可 3回	参加者 公立 1,069名 私立 1,488名 認可 71名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保護者への啓発	保育所入所児童の保護者	・給食だよりに食育活動報告を載せ、保護者に周知する。 ・懇談会や給食試食会を実施する。	活動報告 公立 721回 私立 2,161回 認可 63回 懇談会等 公立 641回 私立 1,388回 認可 42回	懇談会等参加 公立 8,819名 私立 25,020名 認可 862名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

平成29年度食育推進事業実施状況（平成30年3月末）

2	市民対象の食物アレルギー講演会の実施	乳幼児・学童期の保護者、市民	・食物アレルギーに対する正しい知識と給食に対する理解を深めるための研修会を実施する。(子供未来局・教育局共催)	9月21日 1回	参加者 174名	子供未来局 教育局
---	--------------------	----------------	---	----------	-------------	--------------

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・保育所連合会栄養士研修で食物アレルギーへの理解を深め、施設での実践につなげる。 ・栄養士研究委員会にて、テーマを設けて研究・発表する。	10月17日 通年	169名	保育所連合会 子供未来局
2	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	・調理実習や講話の研修を通して、食育や乳幼児期の食事についての理解を深める。	調理実習 4回 8・9月 講話 1回 9月	調理実習 78名 講話 82名	保育所連合会 子供未来局
3	業務研修	保育士	・職場内で食育や食物アレルギーの研修を実施し、正しい知識を得るとともに職員間での共通理解を深め実践につなげる。	4月～12月 公立 41回	330名	保育所 私立保育所(園) 認定こども園 子供未来局
4	食物アレルギー研修会	学校職員	・食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施する。 ・「エピペン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する。			小・中学校 教育局
		保育所職員	・「エピペン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する。	4月～12月 12回	11か所 137名 運営支援課保健師による研修	保育所 子供未来局

具体的な取組 ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします。

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	母子手帳交付説明会、母親教室等での啓発	妊産婦 その家族	・妊娠中の食生活の確認と、家族を含めた健康的な食習慣についての啓発・相談・指導	各区・支所にて毎月1～2回開催予定	母子手帳交付説明会：133回実施。1,047名参加。個別相談19名。 母親教室等：45回実施。620人参加。個別相談11名。	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
2	3～4か月児育児教室での啓発	乳児の保護者	・乳児の食生活についての資料配布、パネル展示等	年間235回開催予定	234回 7,411名参加。	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所

平成29年度食育推進事業実施状況（平成30年3月末）

3	離乳食教室	乳児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> 離乳食の進め方や具体的な調理の方法を学ぶ 参加者間の情報交換により、親同士のつながりをもつ機会とする 食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取と内容の充実について啓発（太白） 	年間66回開催予定	67回 1,470名参加。個別相談420名。	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
4	1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児健診における啓発	幼児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期の健康的な食生活についての啓発と、個別相談 食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取について啓発（2歳6か月児歯科健診集団指導時：太白） 	1歳6か月児健康診査：211回予定 2歳6か月児歯科健康診査：214回予定 3歳児健康診査：216回予定	1歳6か月児健康診査：211回実施。8,795名来所。個別相談1,266名。 2歳6か月児歯科健康診査：213回実施。8,633名来所。個別相談648名。 3歳児健康診査：215回実施。8,292名来所。個別相談493名。	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
5	訪問相談	地域の子育て家庭保護者	<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て家庭へ訪問し、乳幼児の食のすすめ方について個別に相談指導を行う。 	4月～3月 6か所で実施	261件	保育所 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民センター、児童館への出前講座	地域の子育て家庭保護者	<ul style="list-style-type: none"> 児童館、市民センターで離乳食講座、幼児食講座を実施し（出前講座）、生活リズムや健康的な食習慣についての情報を伝える。 	4月～3月 3回	45名	保育所 子供未来局

取り組みの方向性 ①-F 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-F-1 保育所の食育計画に基づき、日々の生活の中で子供たちへの食育を充実させます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所における食育の充実	保育所入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 「仙台市保育所における食育の手引き」をもとに、各施設において「食育の計画」並びに「食育活動計画」の見直しを行い、保育の中での食育を推進する。 毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける。 各施設での食育活動を通して、朝食を毎日バランスよく食べる家庭が増えることを目指す。 	4月～3月 食育活動 公立 1,430回 私立 3,658回 認こ 215回 朝食についての働きかけ 公立 157回 私立 647回 認こ 3回	「年間食育計画」並びに「食育活動計画」は全保育所で作成、実施。 食育活動参加 公立 37,195名 私立 95,968名 認こ 215名 朝食についての働きかけ 公立 10,584名 私立 35,183名 認こ 231名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

具体的な取り組み ①-F-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	畑作りとその収穫物を利用した食事作り	保育所入所児童	<ul style="list-style-type: none"> ・畑作りの年間計画をたてる。 ・子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる体験までつなげる。 ・収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。 	4月～3月 収穫した回数 公立1,399回 私立3,527回 認可 163回 収穫物を給食に取り入れた回数 公立 987回 私立2,428回 認可 128回	畑づくりの計画 公立 37か所 私立 118か所 認可 8か所 収穫物を食した人数 公立 60,928名 私立 123,835名 認可 10,058名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	父親育児参加推進事業のびすく仙台「パパ'sクッキング」	乳幼児のいる父親	・父親が参加しやすい土日にガスサロンを会場に料理教室を開催	年2回開催 ①7月23日 ②12月17日	参加者数 ①5組 15名 ②8組 25名	子供未来局

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくれます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所給食における食文化の継承	保育所入所児童	・給食の献立や行事に、行事食や郷土料理（伝統食）を提供することを通じて地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。	4月～3月 行事食や伝統料理を給食に取り入れた回数 公立 536回 私立2,629回 認可 160回	食した人数 公立 41,821名 私立 206,319名 認可 9,821名 保護者への啓発 公立 248回 私立 1,690回 認可 345回	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します						
具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所給食における地場産物の活用推進	保育所入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 地域の生産者との連携により、米や季節の野菜を給食のメニューに取り入れる。また、生産者と児童が野菜や食材を通して交流を図り、流通について学んだり、感謝の気持ちを持つ。 保護者にも活動の様子を伝え、地元の食材に関心を持ってもらう。 	4月～3月 メニューに取入れる 公立26,120回 私立31,300回 認こ1,886回 保護者へ活動報告 公立 56回 私立 602回 認こ 5回 地産地消調査 6月、11月実施	地元生産者から直接購入 公立 5か所 私立 26か所 認定こども園 3か所 宮城県産利用割合 6月 25% 11月 26%	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持とう						
取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食用食材の放射性物質検査および情報発信	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 保育所・学校における給食用食材の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する 	4月～3月	子供未来局 保育所給食食材サンプル検査 HP掲載 380件 保育所給食1食全体検査HP 掲載 246件	子供未来局 教育局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-C 食べ物の循環を意識し、環境に配慮した食の取り組みをすすめます						
具体的な取り組み ③-C-1 食品ロス削減についての情報を発信し、市民の実践につなげます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	フードバンク・フードドライブ	一般市民	環境関連イベント時に未使用食品等の回収事業を実施し、食品ロス削減に関する市民啓発を図るとともに、消費期限と賞味期限の違いなど食品に関する様々な情報を提供する。	年2回実施予定	平成29年9月3日（日）開催のエコフェスタ2017においてフードバンク実施団体と連携してフードドライブを実施。食品寄付者は約50名で、集まった食品は約107kg、衣装ケース換算で3ケース分。 平成30年1月26日に映画「0円キッチン」上映会に合わせてフードドライブを実施。食品は約26kg、衣装ケース換算で1ケース分。	環境局
2	モットイナイキッチン	一般市民	食の3Rにつながるレシピ（普段は捨ててしまう食材の使用、生ごみを出さない調理の工夫など）投稿と、食に関する様々な知識（地産地消や伝統食文化など）を提供するウェブサイトを作成し、食品ロス削減に関する市民の気運醸成と食の大切さを再発見するきっかけづくりを進める。	平成29年9月1日サイト公開	平成30年3月末時点での参加者（サイトユーザー）は10,071人、アクセス数16,018件、登録レシピ数120件。	環境局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します						
具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食連携事業	児童生徒	経済局と教育局が連携し、特徴のある市内産農産物を取入れた給食を提供する。給食を通して子供たちが地元の農産物や地産地消について学び、家庭でも市内産農産物を食べる機会を増やすことを図る。	11月～1月 期間中 年1回 市内全ての給食提供校186校にて実施	11/13～11/20 「まるっと仙台産農産物の日」実施 単独調理校25校、学校給食センター1所（4校）計29校	経済局 教育局 農業協同組合
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここちゃん）の普及	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 各種イベントでの「せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここちゃん）」の普及を図る。 ホームページでの啓発及び、生産者や販売者、飲食店へのマークの普及を図る。 	随時	収穫まつり（11/11・12）等でPR	経済局
2	地産地消推進サポーター事業	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消推進サポーター新規募集 「おいしい仙台農産物（地産地消ガイドブック）」の配布や、ホームページ等を通じて、地産地消及び仙台市の農産物についての情報提供を行う。 	随時	サポーター数（今年度新規） 消費者 255名(29名) 生産者 82名(6名) 販売店 78名(0名) 飲食店 61名(1名) 計 476名(36名)	経済局
3	NHKテレビ ひるはび 新鮮！金曜日 -市場中継- 目利きのイチバン	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県産を中心とした旬の食材と、その美味しい食べ方等を紹介する 	放送回数 29回		経済局
4	小学校、一般市民などの市場見学への対応	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 食品流通の仕組みと市場の役割について理解を深めてもらうため、一般市民や小学生親子に中央卸売市場内を見学してもらう。 ①一般見学 ②夏休み親子市場見学会 	実施回数 ①随時 ②8月（2回）	①28団体 497名 ②27組 74名	経済局

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市旬の香り市	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市内の生産農家が直売をする ①仙台市勾当台公園グリーンハウス勾当台前 ②せんだい農業園芸センター 	①4～11月（水曜日開催） ②随時（毎月第2・4土日開催）	①延11回開催（延81店舗出店） 4/5(7店)・4/19(9店) 5/31(8店)・6/21(6店) 7/5(5店)・7/19(7店) 8/30(7店)・9/6(7店) 9/20(8店)・10/18(8店)・11/8(9店) ②延26回開催（延86店舗出店）	経済局
2	地産地消推進サポーター事業	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市内の生産現場や、直売所、農家レストラン等、地産地消に取り組む施設の見学を行う。 畑での播種や収穫体験等を通して、生産者との交流及び生産現場への理解を深める機会の創出を図る。 	5/16 播種体験1 8/8 収穫体験1 8/18 現場見学1 9/9 播種体験2 10/27 現場見学2 11/4 収穫体験2	延100名参加 5/16(23名) 8/8(8名) 8/18(21名) 9/9(17名) 10/27(15名) 11/4(16名)	経済局
3	地産地消講演会	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市内で地産地消に取り組む方を講師に迎え、講演会を開講。地産地消を推進し、仙台市内産農産物の消費拡大を図る。 せんだい農業園芸センター収穫まつりと同時開催 	収穫まつりと同時開催 （11/11のみ）	講師：(株)いたがき 社長 板垣金太郎 氏 約80名参加	経済局
4	収穫まつり開催	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> せんだい農業園芸センターにて開催 生産者と消費者等の相互交流を図るためのイベント 	11/11・12開催	11/11・12 入場者数11,636名 (昨年度より約1,900名増)	経済局

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	レクリエーション農園、学童農園設置促進事業	一般市民、児童	<ul style="list-style-type: none"> 市民や子どもたちが「農」と触れあい、体験できる機会の充実を図るための各種農園設置への支援 （レクリエーション農園については開設に係る相談等の対応） 	学童農園91農園77校 （中学校1、小学校42、幼稚園17園、保育園17園）	学童農園77農園66校 （中学校1、小学校38、幼稚園17、保育所・園10）	経済局

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地産地消推進サポーター事業	一般市民	直売やイベントを通して市内産農産物の販売、ホームページでの活動紹介で地産地消を推進する。	随時		経済局
2	エコファーマーの周知	一般市民	せんだい農業園芸センターで開催された収穫まつりにエコファーマーPRコーナーを設置し、エコファーマーや環境にやさしい農業についてのPRを実施。	11/11・12開催	収穫まつり来場者数 11,636名	経済局
3	米オーナー事業	一般市民	・市民が米のオーナーとなり、農家の指導を受けながら米の栽培を行い、収穫した米を受け取る。 田植え、生育見学、稲刈り	田植え 5月 生育見学会 8月 稲刈り 10月	体験あり 30名参加 体験なし 6名参加	経済局 仙台市認定農業者連絡会
4	保育所等サンマ教室への協力	①保育所等入所児童 ②中学生	①おさかな普及協会が、保育所等に出向き、子供達が、魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、子供達にサンマの炭火焼を体験させる。 ②おさかな普及協会が、中学校に出向き、生徒達が魚食に対する興味をもったり、関心を深めてもらえるよう、生徒達にサンマをおろしてつみれ汁を作ることや、サンマの炭火焼きを体験させる。	実施時期 10～11月 実施回数計 18回 保育所等 2回 中学校 16回	①保育所等 340名 ②中学校 728名 提供サンマ数計 1384尾	経済局 (事業主体：仙台おさかな普及協会)
5	生産者による出前授業への協力	小学生	小学校の授業の一環として、生産者が小学校に出向き、農産物等の生産・流通現場について直接子供たちに話をすることにより、食の大切さを伝える。 ①南高梅 ②かぼちゃ	①6月9日 ②12月21日	1歳6か月児健康診査：211回実施。8,795名来所。個別相談1,266名。 2歳6か月児歯科健康診査：213回実施。8,633名来所。個別相談648名。 3歳児健康診査：215回実施。8,292名来所。個別相談493名。	経済局 (事業主体： ・農業協同組合 ・株宮果 ・仙台中央青果卸(株) ・仙台やさい・くだもの普及委員会)

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	経済局分 検体数20（野菜0、林産物20）	H29年分終了 検体数20（林産物）	健康福祉局 経済局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食フェア	一般市民	・市役所食堂での給食メニュー提供及び資料展示	平成30年1月22～26日まで実施。資料展示は1階ギャラリーホール。	市役所食堂での給食メニューについては、各日60食を提供。資料展示では、保護者、学校関係者を含む多くの方々が来場。	健康教育課 教育局
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ，情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-3 学校において食生活調査を実施し，調査結果を活用して健康教育を実施します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的施策の取組	小・中学生	・今後5年間にわたって取り組む「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策に学校・家庭・地域・関係機関の連携を基盤とし，取り組んでいく。	平成27～29年度健康教育推進校として，小・中学校2校を指定。また，平成29～31年度健康教育推進校として，小・中学校3校を指定。 健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」8月7日実施。	各校での取組実施及び連絡会での情報交換2回 ・健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」講演1部門「実践！未来のアスリートへ伝えたい食事」118名参加	小・中学校 教育局
2	健康実態調査	小・中・高校生	・発育状況・疾病及び体力・運動能力，食習慣についてその実態を把握し，分析検討を加え，もって児童生徒の健康と体力の増進を図る。	5～7月実施。	小・中・高校生を対象に調査を実施。報告書にまとめ，各校へ配布予定。	市立学校 教育局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民対象の食物アレルギー講演会の実施	乳幼児・学童期の保護者、市民	・食物アレルギーに対する正しい知識と給食に対する理解を深めるための研修会を実施する。(子供未来局・教育局共催)	9月21日実施	説明内容「食物アレルギーを有する乳幼児・児童生徒に対する仙台市の取組」 講演「食物アレルギー・アナフィラキシーの正しい理解とその対応」(参加者175名)	子供未来局 教育局
2	市民対象の食育に関する講演会の実施	学童期の保護者、市民	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」8月7日実施	・健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」において「実践！未来のアスリートへ伝えたい食事」講演を実施。(参加者118名)	教育局
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギー研修会	学校職員	・食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施する。 ・「エピペン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する	5月17日実施。 通年。	事例紹介「学校における食物アレルギー緊急時の対応について」 講演「食物アレルギーを有する児童生徒への対応」 194名参加	小・中学校 教育局
		保育所職員	・「エピペン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する			保育所 子供未来局
2	食育講演会	学校職員	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」8月7日実施。(再掲)	・健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」講演1部門「実践！未来のアスリートへ伝えたい食事」118名参加	小・中学校 教育局
具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子食育講座	小学生とその保護者	・子供の基本的な生活習慣の確立と生活リズム改善を目的として、栄養士等を講師とした「食育」に関する講話・調理実習を内容とする講座を行う(各小学校の社会学級やPTA等に委託)	平成29年6月～平成30年1月 42校(延べ60回)で実施	児童1,157人、保護者903人、その他(地域の方など)36人、計2,096人が参加	教育局

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	調理講習会in学校給食センター	小学生とその保護者	・学校給食センターの見学や調理実習を通じて、食の大切さについて学ぶ機会を提供	7月27日実施。	8組（17名）参加。「親子で作る夏野菜を使ったお昼ごはん」をテーマに実施。	教育局

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます 1歳6か月児健康診査：211回実施。

具体的な取り組み ②-A-2 学校給食を通じて行事食、郷土食を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食を生きた教材として活用した食育の推進	児童生徒・保護者	・給食の時間における食に関する年間指導に基づいて、地域の郷土食や行事食を提供することを通じて、地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。併せて保護者へも献立表や給食だよりで紹介し、家庭における食育を促す。	各学校において、随時実施。		小・中学校教育局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「せんだいっ子給食月間」	児童生徒	・6月に「せんだいっ子給食月間」を設け、地場産物の活用状況についての調査を行う。	6月実施。	単独調理校、学校給食センターにおける地場産物の活用状況について調査を実施。地場産物活用率29.6%	教育局
2	学校給食連携事業	児童生徒	経済局と教育局が連携し、特徴のある仙台産農産物を給食に取り入れ、児童生徒に旬の地場食材を実感させるとともに、農産物の認知度向上と消費拡大を図る。1日の給食に使用する農産物をほぼ仙台産とする「まるっと仙台産農産物の日」を単独調理校25校、学校給食センター1場で実施。	11月～1月実施。まるっと仙台産農産物の日は11月に実施。	5種の野菜約1,670kg、大豆約800kg、まるっと仙台産農産物の日約2,360kg	経済局教育局

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流，体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり，広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページでの情報発信	一般市民	・学校，仙台市教育委員会のホームページで地場産物活用献立の紹介などを広く発信する。	随時。		教育局

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持つ

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに，正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食用食材の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・保育所・学校における給食用食材の放射性物質検査を実施し，ホームページ等で広く市民に情報発信する	随時。	使用する食品の検査結果，給食一食検査結果を随時発信。	子供未来局 教育局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ食育のページでの発信	一般市民	・食育事業の紹介，食育推進隊などの活動紹介，関係機関等へのリンクなど，情報を発信	通年	随時更新	健康福祉局
2	各区ホームページの食育のページでの情報提供	一般市民	・食育に関する事業のお知らせや実施状況 ・食で健康サポート店の紹介 ・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用，おすすめレシピ紹介，関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
3	健康づくり情報コーナーの設置	一般市民	・食事バランスガイド，食で健康サポート店，健康づくりや生活習慣病予防の食生活等のパネル展示，レシピや資料配布	通年	各区・支所の庁舎内に設置	各区保健福祉センター 総合支所
4	食育月間事業 食生活改善普及運動 食育の日普及啓発	一般市民	・市政だより，区ホームページ，庁内放送，パネル展，レシピの配布等による普及啓発 ・食育月間に，児童館・児童センター，大学・専門学校等にポスターや資料等の掲示。（泉区） ・6月実施の健康教育等にて食育について啓発グッズ配布（宮総） ・食育の日 窓口にて啓発ポケットティッシュ配布，認知度を対面で聞き取り（秋保）	6月 食育月間パネル展実施 9月 食生活改善普及運動 食育の日 毎月19日	・区・支所ごとにパネル展等開催，レシピ・啓発物配布 ・児童館等26館，大学4校専門学校4校にポスター配布（泉） ・啓発物配布119部（宮総）	各区保健福祉センター 総合支所
具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発	子育て中の保護者	・第14回PTAフェスティバル2017にて，生活習慣病予防コーナーを設置し，「塩エコ」をテーマに子育て世代の健康的な食事について情報発信した。 「塩エコ」クイズ，減塩に関するパネルおよびフードモデル展示など	11月12日	コーナー参加者 270名	健康福祉局
2	子育てについてのイベント	子育て中の保護者とその子ども	・「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信 郷土料理，手作りおやつを紹介など	10月25日 会場：七北田体育館	延べ参加者数 大人：185名 子供：192名 計：377名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-4 食育活動に取り組む市民のネットワークをつくり、活動についての情報を広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台食育推進隊」の登録推進と情報発信	一般市民	・「仙台食育推進隊」の募集、登録。また、活動状況や情報をホームページなどで市民に提供	通年	登録数10 (新規登録1)	健康福祉局
2	食生活改善推進員の活動支援	食生活改善推進員	・食の講座や個人への普及啓発等のボランティア活動のための情報提供、助言 ・推進員育成の支援 ・3分会合同の地区リーダー研修会の実施	5月 定期総会 10～11月 推進員養成講座（泉区） 2月 リーダー研修会	・5/26総会6名（秋保） 5/29総会・研修会（宮城16名参加） 6/23学習会7名（秋保） ・推進員養成講座（泉） 10/31 10名参加 11/7 9名参加 ・2/1 3分会合同研修会（宮城15名、泉2名）	健康福祉局 泉区保健福祉センター 宮城総合支所 秋保総合支所
3	食育サポーター養成講座	食育に関心のある市民	・地域で活動する食育サポーターを養成する ・今年度は、既存のグループ（もぐもぐ、La ta ta♪(ラッタッタ)、郷土料理つたえ隊)の追加メンバーを養成する。	6・7月(2回)	参加者数 実5人、延べ10人 もぐもぐ4人、ラッタッタ人加入	宮城野区保健福祉センター
4	食育サポーターの活動支援	食育サポーター	①食育サポーターの研修 ②食育サポーターの活動の場の提供、紹介等	①1回(9月) ②随時	①参加者数 16人	宮城野区保健福祉センター
5	「いずみ食育の輪」の支援	登録団体・個人	①「いずみ食育の輪」（食育活動を行うボランティア団体等）の活動をホームページや食育月間パネル展等で紹介する ②「いずみ食育の輪」の団体の主体的な活動への支援	・ホームページ随時更新 ・活動随時	今年度活動なし	泉区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大学との連携による若い世代への食育推進事業	子育て世代 若い世代	・大学生の食育プロジェクトメンバーが、第14回PTAフェスティバル2017の生活習慣病予防コーナーにて、「塩エコ」をテーマに子育て世代の健康的な食事について啓発活動を行った。 ・成人式の「交流のひろば」での啓発活動	11月12日 1月7日	コーナー参加者 270名 啓発物配布数 200	健康福祉局
2	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	・ニュースレター（NL）とホームページによる健康づくりの普及啓発 ・協働による事業実施（11校と企画）	NL：年2回発行 健康教育：随時	NL配布：29か所 （専門学校26、関係機関3） 健康教育：3回 延121名	青葉区保健福祉センター
3	大学との連携による健康づくり啓発事業	大学生	・東北工業大学の新生を対象に健康づくりの講話および資料、グッズ配布による啓発 ・大学文化祭への参加による来所者への啓発（野菜クイズとグッズの配布等）	・講話5月11日、16日、1月29日 ・大学祭10月14日	・3回実施済み324名参加 ・170名クイズ等に参加	太白区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-1 子供や家族の食習慣について、現状を把握します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	幼児の食生活状況の把握	1歳6か月児健康診査・2歳6か月児歯科健康診査・3歳児健康診査受診者	・幼児健診の問診票や健診結果のデータ等を集積し、食生活状況を把握する	通年	1歳6か月児健康診査：211回実施。8,795名来所。個別相談1,266名。 2歳6か月児歯科健康診査：213回実施。8,633名来所。個別相談648名。	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児健診、離乳食教室、訪問栄養相談での把握	乳幼児の保護者	・問診票、アンケート、聞き取り等による食生活状況の把握	離乳食教室にて母親の食生活状況についてのアンケート実施（継続）	参加者からのアンケート回収数：65部	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	地域の子育て中の保護者	・乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等 ・市民センターからの依頼により、おやつについての講話（秋保）	随時受付	（集団指導） 実施回数：46回 参加人数：1003名 （個別相談）延19名	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児食相談会	概ね1歳～1歳4か月児と保護者	・食育や幼児食についての個別相談会	5回	5回、33件	青葉区保健福祉センター
3	食育推進事業「運動と料理づくり講座」	乳幼児の保護者	・運動講座と家族で囲むバランス食の調理実習、健康情報の提供	1回 9月	親8名 子5名	秋保総合支所
4	食育推進連携事業「Morning Vegetable ～朝食に野菜を～」	若い世代 子育て世代	・管内関係機関と連携し、朝食摂取率向上のための啓発活動を行う ・レシピ集を活用した啓発活動（健康教育での試食・デモ等） ・モーベジ！通信αを活用した情報提供 ・幼稚園保護者を対象とした体験型食育講座の実施	食育講座：4回（児童館2、学校2） モーベジ！通信の活用：1回	・児童館でのモーベジ！食育講座 2回、18組参加 ・小学校でのモーベジ！食育講座 1校、2回、91名参加 ・モーベジ！通信発行、配布幼稚園3園、延800名、情報提供130施設	太白区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発《①-A-2再掲》	子育て中の保護者	・第14回PTAフェスティバル2017にて、生活習慣病予防コーナーを設置し、「塩エコ」をテーマに子育て世代の健康的な食事について情報発信した。 「塩エコ」クイズ、減塩に関するパネルおよびフードモデル展示など	11月12日	コーナー参加者 270名	健康福祉局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会	保育所・せんだい保育室・小規模保育施設・認定こども園の食育担当者等	・講演，事例発表，情報交換等	青葉区・宮総共催 12/11実施	39施設 45名（うち宮城総合支所管内 9名）	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	食育情報交換会	小中学校・幼稚園・保育所・児童館等の食育担当者，訪問栄養相談員	食育や健康づくりに関する講演，事例紹介，情報交換	年1回（11/27）	19名	若林区保健福祉センター
3	学校保健に関する懇談会	小中学校・高校の教職員	児童・生徒の健康問題や健康教育の取り組みに関する情報交換，連携方法の検討	年1回（8/3）	12校13名	若林区保健福祉センター
4	食育担当者情報交換会	保育所，幼稚園，学校の職員	・講演，事例発表，情報交換	アンケート調査の実施	次年度の講演会開催に向けて，食育の取組に関するアンケート調査の実施 3月 130施設（保育所・幼稚園・小中学校，児童館）	太白区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について，専門性を活かし，きめ細かい指導・支援をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊産婦食生活相談	妊産婦 その家族	・来所による妊娠中の食生活についての個別相談	毎月（12回）	9回 延16件	宮城野区保健福祉センター
2	マミーズクラブ同窓会での啓発	母親教室卒業生（乳児の保護者）	・授乳中の母親の食事について講話と資料配布 ・離乳食の始め方についての講話・個別相談	7回	6回 延81組 （台風で1回中止）	青葉区保健福祉センター
3	育児相談会「まめっこの会」【新規】	1歳までの乳幼児と保護者	・講座 ・育児相談 ・育児の情報提供など	年6回	6回 栄養相談 延49件	青葉区保健福祉センター
4	0歳の広場（離乳食編）	乳児の保護者	児童館で，離乳食の講話と相談会	年1回	5組10名	秋保総合支所
5	歯ッピー教室（1歳児歯科保健教室）における啓発	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食生活についての啓発（集団指導）と個別相談	年6回（奇数月）開催（定員20組×6回）宮総	6回68人	宮城総合支所

平成29年度食育推進事業実施状況（平成30年3月末）

6	ママパパくらぶでの啓発	妊婦	・妊娠中、出産後の身体を考えた食生活についての講話，資料配布	年8回	8回65名	宮城総合支所
7	あかちゃんくらぶでの啓発	乳児の保護者	・乳児期の食事の進め方と家族の食生活について講話	年2回	2回53名	宮城総合支所
8	1歳の歯みがき教室	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食習慣確立についての講話と相談	12回	12回実施 参加数 214組 個別 56件	泉区保健福祉センター
9	育児相談	乳幼児の保護者	・親が現在の子供の食事内容や与え方等について相談し，子供にあった対応についての確認をし，自信を持って食事づくりができるよう支援をする	12回（高砂保健センター，岩切保健センター各6回）	高砂 6回 延べ73件 岩切 6回 延べ60件	宮城野区保健福祉センター
				所内，六郷保健センター，七郷保健センターにて各12回	所内 128名 七郷 94名 六郷 56名	若林区保健福祉センター
				茂庭台 3回 東中田 4回 区役所 6回	計13回 個別相談 60件 ミニ講話 参加 157組	太白区保健福祉センター
				6回 所内で偶数月に開催	6回実施 栄養相談 89名	泉区保健福祉センター
10	育児相談（幼児健診事後）	乳幼児の保護者	・1歳6か月児健診，2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導の教室で，幼児期の健康的な食生活についての講話と相談	2回	9月 14組 12月 8組	泉区保健福祉センター
11	訪問栄養指導事業	おもに妊産婦，乳幼児の保護者など	・家庭訪問により，生活実態に合った具体的な支援をする	通年	延件数 妊産婦： 4件 乳幼児：619件 その他： 0件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
12	食生活・栄養相談	乳幼児の保護者及び妊産婦	・電話，来所による栄養相談	通年，随時受付	延件数 妊産婦： 54件 乳幼児：463件	各区保健福祉センター 総合支所

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	小学校，市民センターと連携した健康教育	児童とその親	①小学校のフリー参観日に，中学生に向けた体づくりというテーマで，栄養のバランス，間食，生活リズム等についての講話を実施。 ②①の講話を受け，市民センターを会場として親子を対象とした調理講座を実施	①12月 ②2月	①12/2 6年生85名，保護者6名 ②2/10 調理講座 小学生7名，保護者4名	宮城総合支所
2	保育所などと連携した健康教育	乳児の保護者	・保育所地域子育て支援センターとの連携による離乳食講座（調理実習）	11月	11/9実施 参加数12組	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-10 食育関係機関，関係者の資質向上とネットワークづくりをすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会 《①-B-7 再掲》	保育所・せんだい保育室・小規模保育施設・認定こども園の食育担当者等	・講話，事例発表，情報交換等	青葉区・宮総共催 12/11実施	39施設 45名（うち宮城総合支所管内 9名）	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	子育てネットワーク会議	保育所，幼稚園，児童館，市民センター，育児サークル，託児ボランティアグループ，社協等	・子育てネットワーク会議の中で食育の情報提供を行う	年2回 1回目（6月2日）	6/2 参加者59名（うち所内14名） 2/9 55名（うち所内13名）	宮城総合支所
3	食育情報交換会 《①-B-7 再掲》	小中学校・幼稚園・保育所・児童館等の食育担当者，訪問栄養相談員	食育や健康づくりに関する講演，事例紹介，情報交換	年1回（11/27）	19名	若林区保健福祉センター
4	食育担当者情報交換会《①-B-7 再掲》	保育所，幼稚園，学校の職員	・講演，事例発表，情報交換	アンケート調査の実施	次年度の講演会開催に向けて，食育の取組に関するアンケート調査の実施 3月 130施設（保育所・幼稚園・小中学校，児童館）	太白区保健福祉センター
5	学校・保育所・地域栄養連絡会	小・中学校栄養教諭・栄養士，支所栄養指導員	・各ライフステージごとの食生活の課題を共有し，地域全体の食育の推進を図る。 ・健康のつどいにて各校・保育所の食育紹介	7月 11月	5名 4校・1保育所	秋保総合支所
6	地域子育て交流会	いずみ食育の輪，育児サークル，育児サロン，のびすく泉中央，泉区中央市民センター	・「子育て応援倶楽部いずみん」における食育活動支援と情報提供 いずみおやこフェスティバルにおける食育の情報発信《①-A-2 再掲》	10月25日	延べ参加者数 大人 185名 子供 192名 計 377名	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します						
具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	若い世代の健康づくり支援事業 《①-A-5 再掲》	専門学校の学生	<ul style="list-style-type: none"> 職員や学生に向けた健康情報（ニュースレター：NL）の発信 健康教育，掲示教育用のCDRを各学校に提供し，活用につなげる。（H26年度作成） 	NL：年2回発行 健康教育，CDR 配布：随時	NL配布：29か所 （専門学校26，関係機関3） 健康教育：3回 延121名	青葉区保健福祉センター
2	地域健康教育 （出前健康教育，出前講座，宅配講座）	小・中・高校生及び保護者	生活と食事のリズム，朝食の大切さ，バランスのよい食事等をテーマにした健康教育	随時	（集団指導） 実施回数：0回 参加者数：0名 （個別相談）0件	宮城野区保健福祉センター
3	地域健康教育 （宅配講座）	幼稚園・小・中・高校生及び保護者等	生活と食事のリズム，朝食の大切さ，バランスのよい食事等についての講話。	随時	0回	若林区保健福祉センター
4	食育推進連携事業 「Morning Vegetable ～朝食に野菜を～」 《①-B-2 再掲》	若い世代 子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> 管内関係機関と連携し，朝食摂取率向上のための啓発活動を行う レシピ集を活用した啓発活動（健康教育での試食・デモ等） モーベジ！通信αを活用した情報提供 幼稚園保護者を対象とした体験型食育講座の実施 	食育講座：2回 モーベジ！通信の活用：1回	<ul style="list-style-type: none"> 小学校でのモーベジ！食育講座 1校，2回，91名参加 モーベジ！通信発行，配布幼稚園3園，延800名，情報提供130施設 	太白区保健福祉センター
5	大学生を対象とした食育	大学生等	<ul style="list-style-type: none"> ①食育月間に合わせ，朝食についての資料を配布。 《①-A-1再掲》 ②大学生協まつり等で食育のブースを設置し，食育体験の場を設置する。あわせて栄養相談，情報提供も行う。 （大学生協組合との協働により実施予定） 	①6月 ②10～11月	①大学・短大 4校 専門学校 4校 ②10/21,10/22延135名参加 11/8延85名参加	泉区保健福祉センター

平成29年度食育推進事業実施状況（平成30年3月末）

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします						
具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	働き盛り世代の健康支援事業	児童と保護者	・市民センター、学校との連携による健康教育（砂糖のクイズ）	12/6	児童（小学5年生）76名 保護者68名	青葉区保健福祉センター
2	健康情報の提供	タクシー事業者 理美容組合員	・職員や顧客向けの健康情報の提供（掲示物等）	情報提供（栄養関係） 5回 5月・8月・11月・12月・2月	5回 タクシー：延べ34箇所 理美容：延べ355箇所 その他：延べ5箇所	宮城野区保健福祉センター
3	職域と連携した生活習慣改善のための事業	働き盛りの男性	・生活習慣病予防のための健康づくり講座	10月23日	理容組合：47名	若林区保健福祉センター
4	生活習慣改善に向けた事業	働き盛り世代	・事業所で働く方を対象とした生活習慣改善の出前講座の実施	1回	東北工業大学職員向け講座の実施 11/24開催 33名	太白区保健福祉センター
5	働き盛り世代への食情報の発信	働き盛り世代	・消防団健康教育、スポーツレクリエーション大会時に情報提供 ・自営業者及び事業所の健康管理担当者からの情報把握と食情報の提供	9月・2月 随時	9月 58名 21件	秋保総合支所
6	生活習慣改善啓発事業	働き盛り世代	・地域のスーパーマーケットとの連携による、体験型生活習慣病予防イベント	9月	イベント参加者延1,033名 うち栄養コーナー延135名	泉区保健福祉センター
7	地域健康教育	働き盛り世代	・商工会等団体との連携により、健康教育の実施	随時	2回実施 46名	泉区保健福祉センター
8	児童館などと連携した健康教育	乳幼児、小学生の保護者	・児童館を利用している乳幼児保護者に向けての減塩や健康的な食生活についての健康教育の実施 ・児童館健康教育での減塩についての資料配布	通年	1回、2名参加 資料配布数、20部	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて、生活習慣病予防について学習する機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育 (出前健康教育, 出前講座, 宅配講座)	一般市民	・町内会, 老人クラブ, 地区社会福祉協議会のサロン等での, 低栄養予防, 骨粗しょう症予防, 生活習慣病予防などをテーマにした健康教育	随時	(集団指導) 実施回数: 32回 参加者数: 647名 (個別相談) 51件	各区保健福祉センター 総合支所
2	生活習慣病予防のための健康相談会	一般市民	・イベント形式で血管年齢測定及び体力測定を実施し, 状況に合わせ, 食生活についてのアドバイスを行う	9月8日	血管年齢測定43名(うち体力測定21名)	宮城総合支所
3	介護予防サポーター スキルアップ研修	介護予防運動 サポーター	・介護予防運動サポーターが地域で継続的に活動できるよう, 健康的な食生活について啓発する。 ・サポーターを通じた地域の高齢者への啓発をはかる。	10月 2回	2回実施 124名参加	泉区保健福祉センター
4	生活習慣改善講座	働き盛りの男性	・生活習慣病予防のための健康教室	2月 2回	2回のうち2回目は, 食と生活習慣編8名	秋保総合支所
具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ, 食習慣の改善を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定保健指導	特定保健指導 対象者(積極的支援)	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	8月~	延 88件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
2	基礎健診保健指導	基礎健診保健 指導対象者	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	11月~	延 51件	各区保健福祉センター 総合支所
3	生活習慣病予防教室	HbA1c要指導者	・糖尿病発症予防のための教室	3回	延 43名	青葉区保健福祉センター
4	健康づくり相談 基礎健康診査事後指導	健診受診者	・受診後の相談ができる場の提供 ・食習慣改善のための講座実施	年1回実施 相談は随時受付	3件	宮城総合支所
5	糖尿病予防講座	平成28年度の 特定健診及び 基礎健診受診 者でHbA1c 要指導者等	糖尿病の予防のための食事についての講話	6月	実施回数 1回 参加者 10人	宮城野区保健福祉センター
6	ヘルスアップセミナー	健診の結果, 血糖・脂質・ 血圧が要指導 等の者	生活習慣病予防のためのセミナー(医師講話・栄養講話・運動等)	医師講話 6/28 運動実技 7/5 食生活講話 7/25	48名 21名 19名	若林区保健福祉センター

平成29年度食育推進事業実施状況（平成30年3月末）

仙台市健康福祉局

7	生活習慣病予防講座 (健康づくり講座)	HbA1c要指導者 血圧またはLDL要指導者	・生活習慣病発症予防のための講座（健康づくり講座） HbA1c、血圧またはLDLが高めの方を対象として医師講話、食事、運動の内容を3回コースで実施 ・昨年度の講座受講者を対象にフォローアップ講座を開催	H30.1月～2月実施 H29.5月実施	・3回 実37名 延88名 ・1回 7名参加	太白区保健福祉センター
8	あおば健康づくり講座	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談	12回	講話 4回 28名 個別相談 25件	青葉区保健福祉センター
9	健康づくり相談	一般市民	・健康づくりのための食生活相談	毎月（12回）	12回 延べ14件	宮城野区保健福祉センター
10	健康生活講座	一般市民	・健康づくりのための食生活講話、演習	9月・12月（2回）	実施回数 2回 参加者数 延べ21人	宮城野区保健福祉センター
11	健康づくり講座、相談	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と食生活に関する個別相談	講座8回、相談11回 出張健康づくり講座2回	講座8回85名 相談8件 出張健康づくり講座2回26名	若林区保健福祉センター
12	生活習慣改善相談	一般市民	・予約制の個別健康相談	通年	11回 延32名	太白区保健福祉センター
13	健康づくり相談	一般市民	・相談とミニ講話による食生活や生活習慣改善のための支援	個別相談 月1回 開設 ミニ講話 2回	12回 延 18件 ミニ講話 3回実施 参加者45名	泉区保健福祉センター
14	糖尿病予防啓発	一般市民	世界糖尿病デー啓発	11月 パネル展	パネル展 1回 資料配布数 755	宮城野区保健福祉センター
15	生活習慣病予防啓発	一般市民	世界高血圧デーパネル展	5月	パネル展 1回 資料配布数 681	宮城野区保健福祉センター
16	食生活・栄養相談	一般市民	・訪問、電話、来所による栄養相談	通年	訪問相談：延 18件 電話・来所での相談： 延 281件	各区保健福祉センター 総合支所
17	被災者の食生活支援	仮設住宅等入居者→復興公営住宅等入居者	・復興公営住宅集会所、中核支えあいセンター等での食生活相談 ・地域被災者健康相談等での講話、食生活相談 ・訪問、電話、来所による食生活・栄養相談 ①健康応援団・サロンでの栄養講話や栄養相談 ②料理サロン ③訪問・電話・来所による栄養相談	随時 年3回の健康教室のうち1回を調理実習（栄養講話）として実施（9月26日）宮総	随時 栄養講話（宮総） 実施1回 参加9組	各区保健福祉センター 総合支所

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	各区ホームページの食育のページでの情報提供 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用, おすすめレシピ紹介, 関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
2	健康づくり情報コーナーの設置 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイド, 健康づくりサポート店, 生活習慣病予防の食生活等のパネル展示, レシピや資料配布	通年	各区・支所の庁舎内に設置	各区保健福祉センター 総合支所
3	区民まつりや地域のまつり, イベントでの啓発普及	一般市民	・健康づくりブースでの啓発普及 ・食事バランスガイドの紹介, 活用方法の普及など ・クイズや演習など, 媒体を活用した展示等	通年 10月29日地区まつり来場者への啓発(宮総, 秋総) 10・11月 4回 高砂・岩切・区中央市民C・みやぎの区民(宮城野)	実施回数: 14回 参加者数: 延 2,459名	各区保健福祉センター 総合支所
4	健康増進普及月間事業	一般市民	・健康づくりに関する講演会 ・市政だより, ホームページ, 庁内放送, パネル展, 資料配布等による普及啓発 ・商業施設内で関連イベントを実施(泉区)	9月 パネル展の実施 9月 イベント実施予定(泉)	講演会: 2回 参加者数: 114名 イベント: 7回 参加者数: 3,305名	各区保健福祉センター 総合支所
5	被災者向け健康情報紙の発行	仮設住宅居住者等	・栄養・健康情報, レシピなどを掲載した被災者向け健康情報紙を作成し, 仮設住宅等に配布する	年3回発行(宮総) 年6回発行(若林) 12月発行(泉)	6回発行(宮総)発行部数: 延1,833部 (若林)発行部数: 延7,236部 (泉)発行部数: 100部発行	宮城総合支所 若林区, 太白区, 泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-E-2 食品販売業者, スーパーマーケット, 飲食店, ホテル, 旅館等との連携により, 食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食で健康サポート店推進事業	一般飲食店, 給食施設, 食料品等販売店 一般市民	・栄養成分表示, バランスメニュー, 野菜たっぷりメニュー, 塩エコ(塩分控えめ)メニューのいずれかを提供する店舗(食で健康サポート店)の登録を推進 ・登録店舗向けに, 健康情報を発信 ・食で健康サポート店を市民に周知, 栄養成分表示等の活用方法などを啓発(泉区)	通年 12月健康情報発信 10月(泉区)	登録店舗数: 58店舗 相談指導: 2件 登録PR活動: 28件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします						
具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	母と子の食育教室 (今日もバクバク元 気っ子くらぶ)	幼児と保護者	・食育講話とクッキングやクイズ等を組み合わせた体験型教室	2回 5・11月 児童館	参加者数 延べ19組	宮城野区保健福祉 センター
具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子供の食育講座	小学生	・児童館・児童センターと共催により、調理等の体験型の講座を通して、食事の大切さ、食べる楽しさを学ぶ	6月14日実施	参加者数 23名	泉区保健福祉セン ター
推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう						
取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます						
具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育月間、みやぎ地区まつりでの紹介	一般市民	・地域の食材を使用した料理の紹介 ・レシピ配布	6月食育月間中の健康教育、パネル展等にて配布	旬の食材・おやつレシピ167部	宮城総合支所
2	子育てについてのイベントでの情報発信	子育て中の保護者とその子ども	・「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信《①-A-2再掲》 郷土料理、手作りおやつを紹介等	10月25日 会場：七北田体育館	延べ参加者数 大人：185名 子供：192名 計：377名	泉区保健福祉セン ター
推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	Morning Vegetable～朝食に野菜を～のレシピ配布	一般市民	・食育推進連携事業の一環として、たいはく朝市の来場者に、販売される旬の野菜を使った野菜料理レシピを、朝市の出店者を通して配布する	4月～12月	朝市開催18回 レシピ5パターン、延150部 配布	太白区保健福祉セン ター

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持つ						
取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	通年	352件実施 (各区保健福祉センター、食品監視センター、食肉衛生検査所)	健康福祉局 経済局 各区保健福祉センター
2	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発	一般市民、食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館（詳細及び概要版）5,500部、パンフレット6種計16,800部作成 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター 宮城総合支所
3	ホームページによる食品衛生情報の提供	一般市民、食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
4	食品の安全性に関する講演会の開催	一般市民	・食品の安全性に関する講演会の開催	H30年1月開催予定	平成30年1月17日開催 145名参加	健康福祉局 各区保健福祉センター
5	食品の安全性に関する講習会の実施	一般市民	・市政出前講座（担当テーマ：安全・安心の食生活）における食品衛生情報の提供 ・市民向け食品衛生講習会の実施	申し込みの都度	市政出前講座：4回、242名 市民向け食品衛生講習会：58回、1,038名	健康福祉局 各区保健福祉センター
6	食品の安全性等に関する相談対応	一般市民	・食品の安全性や表示等に関する電話相談、問い合わせ等への対応	随時対応	随時対応	健康福祉局 各区保健福祉センター
7	せんだい食の安全サポーター制度	せんだい食の安全サポーター	・せんだい食の安全サポーター会議における食品衛生情報の提供	年4回（予定）	4回実施	健康福祉局 各区保健福祉センター
		せんだい食の安全情報アドバイザー	・食肉まつりにおける食品衛生普及啓発活動	H29年6月3日実施予定	アドバイザー6名参加	健康福祉局 各区保健福祉センター

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-2 食品の安全性確保のための監視指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食施設立入検査	特定給食施設 条例に基づく 給食施設	・健康増進法に基づく特定給食施設，条例に基づくその他の給食施設に対する，栄養管理，衛生管理指導	通年	特定給食施設：127件 その他の給食施設：111件	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品衛生監視指導計画の策定と実施	食品等事業者	・食品衛生監視指導計画に基づく食品等営業施設の監視指導の実施	通年	61,240件	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-3 食品関係営業者に向けて食品の安全性に関する情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページによる食品衛生情報の提供 《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	ファクシミリによる食品衛生情報の提供	食品等事業者	・ファクシミリによる食品衛生情報の提供	随時実施	97回，7,138件	健康福祉局 各区保健福祉センター
3	食中毒防止等のパンフレット，ポスター配布による啓発《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成，配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館（詳細及び概要版）5,500部，パンフレット6種計16,800部作成 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-4 食品関係営業者を対象に食品の安全性に関する講習を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品等事業者に対する衛生講習会の実施	食品等事業者	・食品等事業者等に対する衛生講習会の実施	随時実施	107回，3,894名	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品等事業経営者セミナーの開催	食品等事業者	・食品等事業経営者セミナーの開催	H29年11月実施 予定	平成29年11月6日開催 129名参加	健康福祉局 各区保健福祉センター